

## アロマセラピー実施の基礎知識

### [講義の目的]

特にケアに関わるアロマセラピーの基礎知識を「芳香」と「タッチング」に分け、基本的なアロマケアの方法を学修し、対象者（患者）に対し配慮や心配りをした上で、対象者（患者）に効果的なタッチングができるようになることを目標とする。

### [講義の概要]

対象者（患者）の疾患や症状をアセスメントした上で、その対象者（患者）に必要なアロマケアを把握し適切に実施するために種々の方法を学ぶ。オイルについては、臨床で使用頻度の多い精油と植物油についての基礎知識を学修する。アロマトリートメントについては、施術前に対象者（患者）に対する配慮と心配りを学び、対象者（患者）に苦痛を与えず我慢させない安楽な体位の必要性和、心をこめた優しいタッチの基本的な方法を学ぶ。またその技術的背景や理論的背景などの基礎知識を学ぶ。

### [講義の到達目標]

1. アロマケアを行う前に対象者（患者）の状態を把握しアセスメントできる。
2. 症状に対する適切なアロマセラピーを実施できる。
3. 精油と植物油の基礎知識を学び対象者（患者）の好みの精油を理解し、症状に関連づけてブレンドを考えることができる。
3. 対象者（患者）に対する配慮と心配りの必要性を理解する。
4. 安全で安楽な苦痛を与えない体位の重要性を理解し、臨床においてアロマセラピーを実践する基礎を習得する。

時限	テーマ	内容と到達目標	担当
1	対象者（患者）に対する基本的な姿勢	日々変化する対象者（患者）の状態を施術前にアセスメントした上で、対象者（患者）の動きから意味を読み取り、配慮や心配りができる。 施術を通して対象者（患者）との信頼感を形成することの意味を理解できる。	所澤 いづみ
	芳香	芳香浴や消臭の方法を学び、病院・ホスピス・施設などの環境の違いや対象者（患者）の状態に応じたアロマセラピーを理解する。	
	保清	足浴や手浴などの部分浴と全身清拭時にハーブウォーター、ブレンドオイル、アロマクリームによる保清の方法を理解する。	
2	精油と植物油の基礎知識	トリートメント時に使用頻度の多い精油と植物油についての化学成分や効能、有効なブレンドなどのオイルの基礎知識を学び、対象者（患者）の症状と関連づけて考えることができる。	久保 浩子
3	アロマトリートメントの注意点と禁忌	アロマトリートメント実施における注意点と禁忌を理解する。	所澤 いづみ
	タッチング	対象者（患者）の病態をアセスメントし、施術の圧加減・力加減・スピードに留意してアロマセラピーを実施できる。 ハンドトリートメントを通して対象者（患者）との信頼関係の構築を行う基礎を理解する。	